

社会福祉法人 日本ライトハウス 事業の概要

法人本部・厚生省委託養成事業・盲導犬訓練事業				視覚障害リハビリテーションセンター					視聴覚障害者情報提供施設		
名称	法人本部	(募金事業部)	視覚障害者生活指導等指導者養成課程	盲導犬訓練所	障害者支援施設「日本ライトハウスきらきら」	障害者サービス事業所「日本ライトハウスわくわく」	身体障害者等能力開発事業【職業訓練部】	居宅支援センターてくてく	大阪盲人ホーム	情報文化センター	
	大阪市鶴見区今津中			大阪府南河内郡千早赤阪村	大阪市鶴見区今津中				大阪市城東区	大阪市西区江戸堀	東大阪市森河内
主な業務内容	法人の対外的・内部的業務遂行 各部の運営管理支援 職員の労働環境・健康管理 ・法人全体の研修計画などの遂行 人権意識の醸成と意識の深化 運営会議	募金活動 ①援助会員の獲得 ②募金箱設置 ③機関紙の発行(企業・団体・市民等に対する視覚障害理解の啓蒙活動) ④チャリティショー開催 ⑤後援会組織「灯友会」事務局、盲導犬を育てる会をサポート	視覚障害者への生活訓練等指導者養成課程(厚生労働省委託事業)、教育関係者に対する研修(文部科学省後援)、医療関係者に対する研修(日本眼科医会共催)において視障リハ基礎講習会等を実施するとともに、各地への訪問指導事業も受託。歩行訓練士として561名が終了。	盲導犬の育成とともに自治体や団体等の依頼によって、盲導犬取得を希望される方と盲導犬との共同訓練を実施。 年間20~25頭作出。これまでの提供頭数638頭。	視覚障害者の方の地域における自立と社会経済活動への参加を促進するため、「自立訓練(機能訓練)」「就労移行支援」「生活介護」「施設入所支援」を実施する。個人々の障害状況や将来計画、個人環境など利用する方々の希望に応じて個別支援計画を組みサービスを実施	視覚障害者の方の地域における自立と社会経済活動への参加を促進するため「生活介護」を実施。個人々の障害状況や将来計画、個人環境など利用する方々の希望に応じて個別支援計画を組みサービスを実施。	情報処理科 ①パソコン活用コース ②ビジネス科電話交換コース ③ビジネス科会計・経営コース	1. 障害者総合支援法関係事業 ①居宅介護 ②重度訪問介護 ③同行援護 2. 介護保険法関係事業 ①居宅介護支援・ ②介護予防支援 ③訪問介護・介護予防訪問介護	「放出治療院」において、あんなま・はり・きゅう師免許を持つメンバーが、治療経験を積むことにより技術の向上をはかるとともに指導員の臨床指導を受けて就労や開業につなげることを目的とする。	目の見えない方・見えにくい方が、見える人と等しく“情報”を活用し“文化”を享受し“コミュニケーション”を楽しむ。 そのような社会の実現を目指した活動を展開している。 全国の視覚障害のある人・情報入手に困難を感じる人(発達障害など)・情報提供を行っている機関	点字図書の出版を中心とした事業を展開。点字教科書(小学部・中学部、高等部普通科・高等部理療科(活字版・点字版・デジ版)、児童書・一般書の点字版、に加えて点字名刺・点字プレート・地方自治体などの点字版広報誌の製作・供給など。
利用者・対象者像・実績			全国の福祉関係者・大学など養成機関、盲学校など教育機関、医療関係者や視覚障害に関する研究者や地方自治体など	全国の視覚障害者で地方自治体などからの支援が受けられる人	(日中サービス) 自立訓練(機能訓練): 20名 就労移行支援: 6名 生活介護: 8名 施設入所支援: 30名	(日中サービス) 生活介護: 40名	定員: 16名 利用者 ①総合支援法 居宅介護 1,036人日・重度訪問介護 77人日・同行援護 1,810人日ほか、 ②介護保険法 居宅介護 77人日・重度訪問介護 77人日・同行援護 94人日・移動予防支援 64人日、ヘルパー数: 60名	定員: 8名 施術件数: 延べ1,672件	利用登録者: 3,910名 蔵書数: 点字図書 12,973タイトル、録音図書 20,742タイトル、 貸出数: 点字図書 1,720タイトル、録音図書 35,866タイトル、 対面リーディング 1,066件 ボランティア数: 650名	視覚障害のある人・盲学校・理療関係者や養成機関・地方自治体や公共輸送機関など点字表記が求められる施設など 製作状況 ・教科書: 点字版 7,162冊 活字版 1,801冊、デジ版 196枚 ・広報: 5,561冊 ・その他: 冊子類 43件・10,794冊、点字サイン 63件・5,460枚	